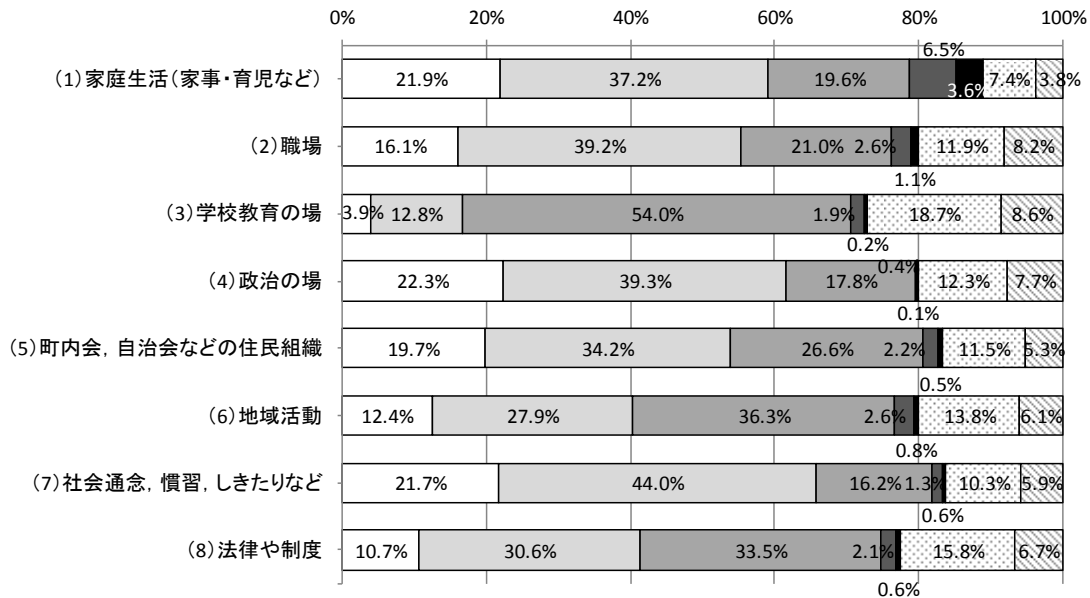


【1 男女の地位の平等に関する意識について】

問1 あなたは、次にあげる8つの分野において、男女の地位は平等になっていると思いますか。(それぞれについて該当する「1～6」に○を1つ)

「男性が優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の合わせた項目で最も多いのは、「(7) 社会通念、慣習、しきたりなど」次いで「政治の場」となっており、「女性の方が優遇されている」「どちらかといえば女性の方が優遇されている」の項目で最も多いのは、「(1) 家庭生活(家事・育児など)」となっています。

また「平等である」が多い項目は、「(3) 学校教育の場」となっています。



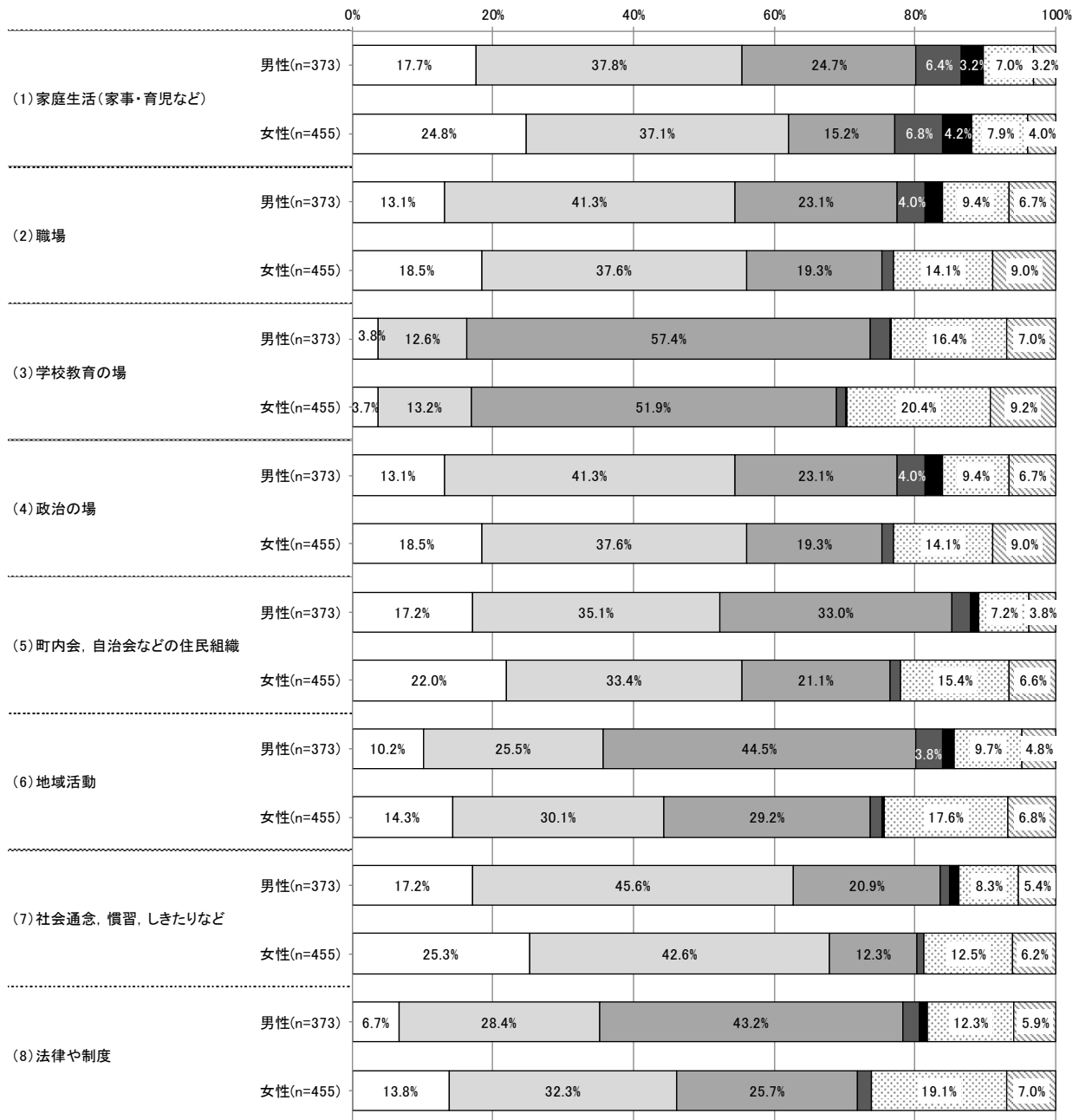
□男性の方が優遇されている □どちらかといえば男性の方が優遇されている ■平等である ■どちらかといえば女性の方が優遇されている ■女性の方が優遇されている □わからない □無回答

項目	男性の方が優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が優遇されている	わからない	無回答	合計
(1) 家庭生活(家事・育児など)	187	317	167	55	31	63	32	852
(2) 職場	137	334	179	22	9	101	70	852
(3) 学校教育の場	33	109	460	16	2	159	73	852
(4) 政治の場	190	335	152	3	1	105	66	852
(5) 町内会、自治会などの住民組織	168	291	227	19	4	98	45	852
(6) 地域活動	106	238	309	22	7	118	52	852
(7) 社会通念、慣習、しきたりなど	185	375	138	11	5	88	50	852
(8) 法律や制度	91	261	285	18	5	135	57	852

項目(構成比)	男性の方が優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が優遇されている	わからない	無回答	合計
(1) 家庭生活(家事・育児など)	21.9%	37.2%	19.6%	6.5%	3.6%	7.4%	3.8%	100.0%
(2) 職場	16.1%	39.2%	21.0%	2.6%	1.1%	11.9%	8.2%	100.0%
(3) 学校教育の場	3.9%	12.8%	54.0%	1.9%	0.2%	18.7%	8.6%	100.0%
(4) 政治の場	22.3%	39.3%	17.8%	0.4%	0.1%	12.3%	7.7%	100.0%
(5) 町内会、自治会などの住民組織	19.7%	34.2%	26.6%	2.2%	0.5%	11.5%	5.3%	100.0%
(6) 地域活動	12.4%	27.9%	36.3%	2.6%	0.8%	13.8%	6.1%	100.0%
(7) 社会通念、慣習、しきたりなど	21.7%	44.0%	16.2%	1.3%	0.6%	10.3%	5.9%	100.0%
(8) 法律や制度	10.7%	30.6%	33.5%	2.1%	0.6%	15.8%	6.7%	100.0%

【性別 クロス集計】

性別で比較するとすべての項目において、女性で「男性の方が優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせた回答が多くなっています。「(どちらかといえば) 男性の方が優遇されている」が最も差のある回答は「法律や制度」11ポイント女性が多くなっています。

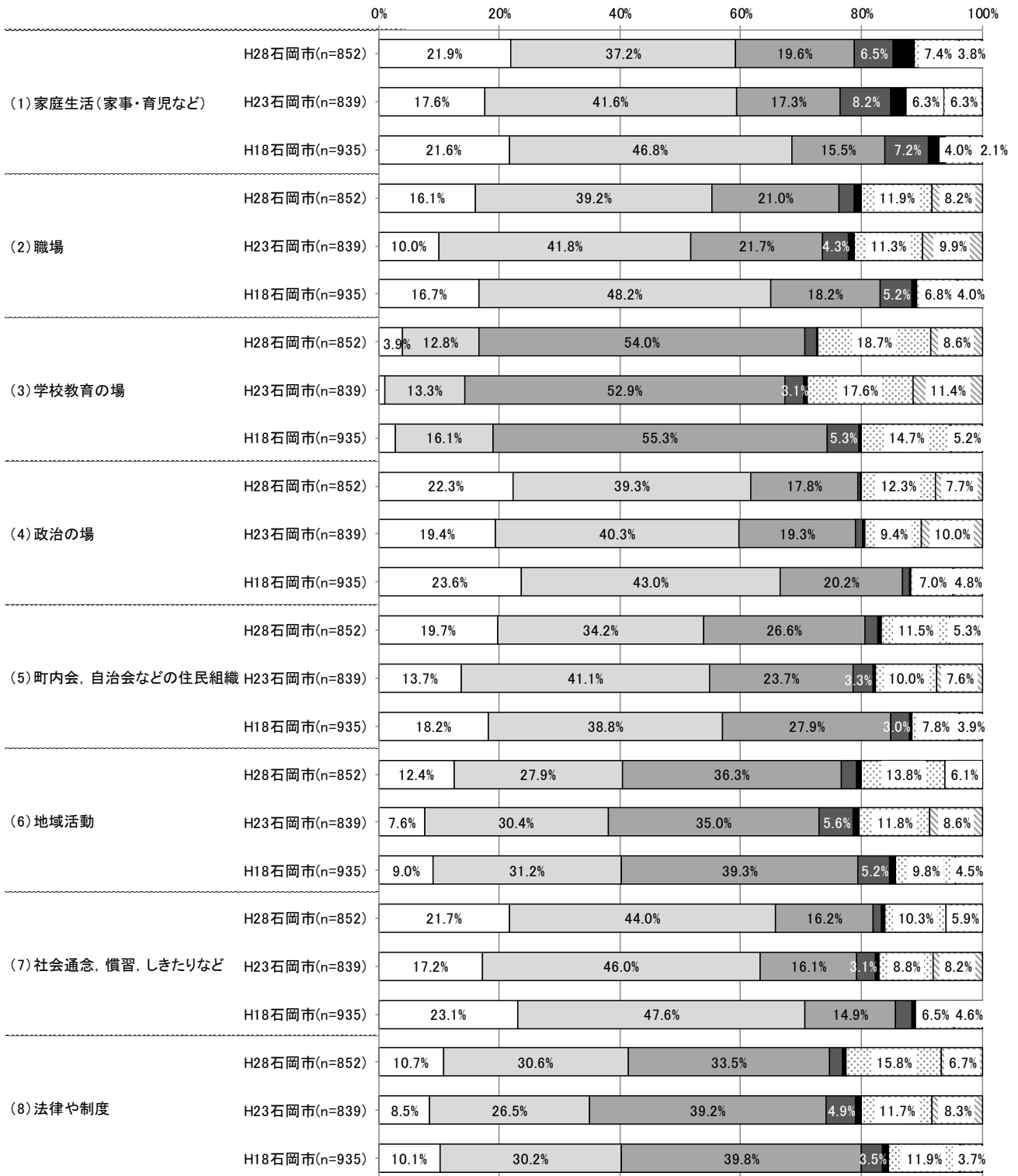


男性の方が優遇されている
 どちらかといえば男性の方が優遇されている
 平等である
 どちらかといえば女性の方が優遇されている
 女性の方が優遇されている
 わからない
 無回答

【経年 クロス集計】

経年で比較すると「男性の方が優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせると全体的に平成18年から平成23年に減少し、平成28年に増加または横ばいとなっています。

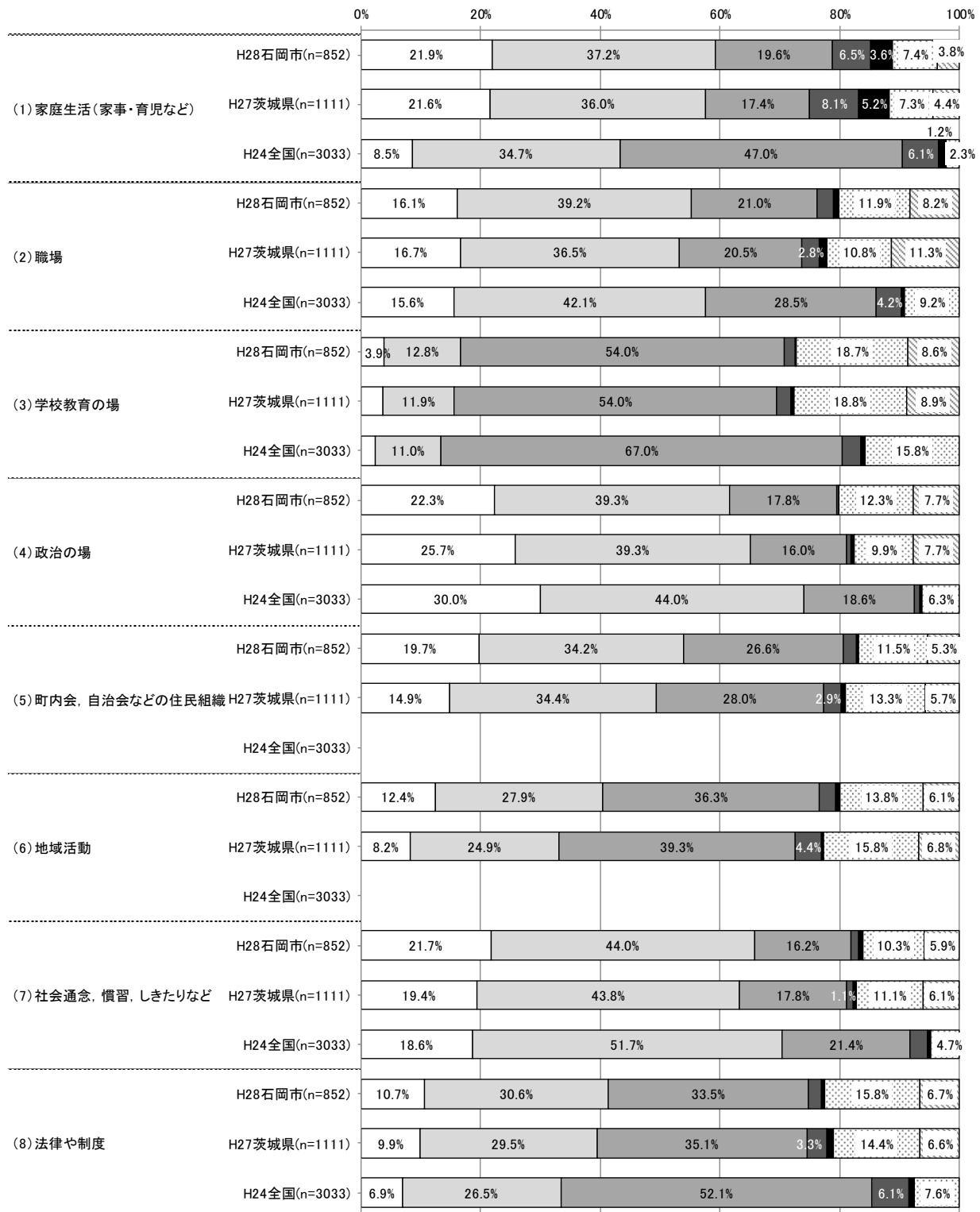
また、「平等である」が平成18年から増加している項目は、「(1) 家庭生活(家事・育児など)」、「(2) 職場」となっています。



男性の方が優遇されている
 どちらかといえば男性の方が優遇されている
 平等である
 どちらかといえば女性の方が優遇されている
 女性の方が優遇されている
 わからない
 無回答

【茨城県・全国 クロス集計】

茨城県・全国と比較すると「男性の方が優遇されている」、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせると、石岡市が多い項目は、「(1) 家庭生活(家事・育児など)」、「(5) 町内会、自治会などの住民組織」、「(6) 地域活動」、「(8) 法律や制度」となっています。



男性の方が優遇されている
 どちらかといえば男性の方が優遇されている
 平等である
 どちらかといえば女性の方が優遇されている
 女性の方が優遇されている
 わからない
 無回答

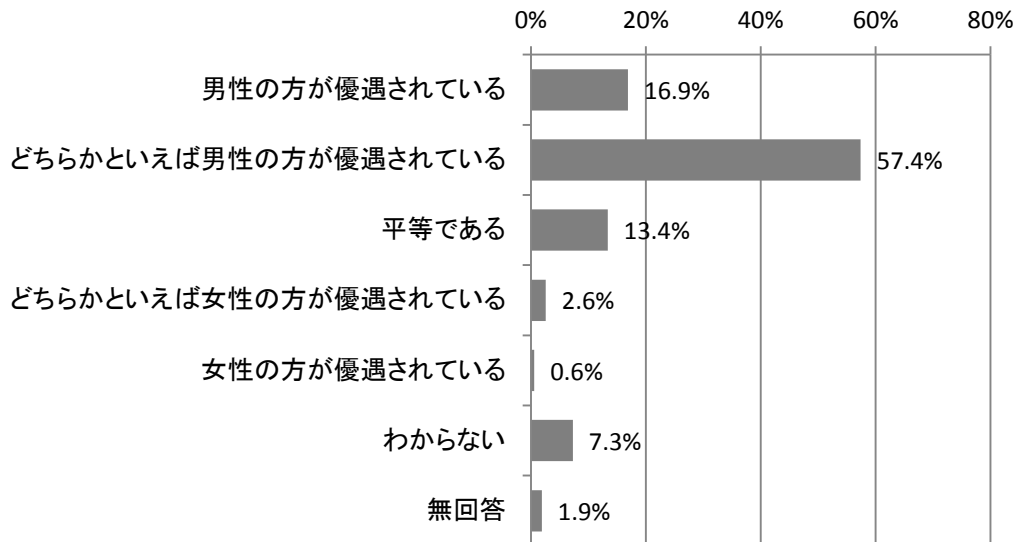
※(5) 町内会、自治会などの住民組織及び(6) 地域活動については、全国は項目が違うため未掲載。

問2 あなたは社会全体でみた場合には、男女の地位は平等になっていると思いますか。

(○は1つ)

「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が57.4%と最も多く「男性が優遇されている」と合わせると7割以上となっています。

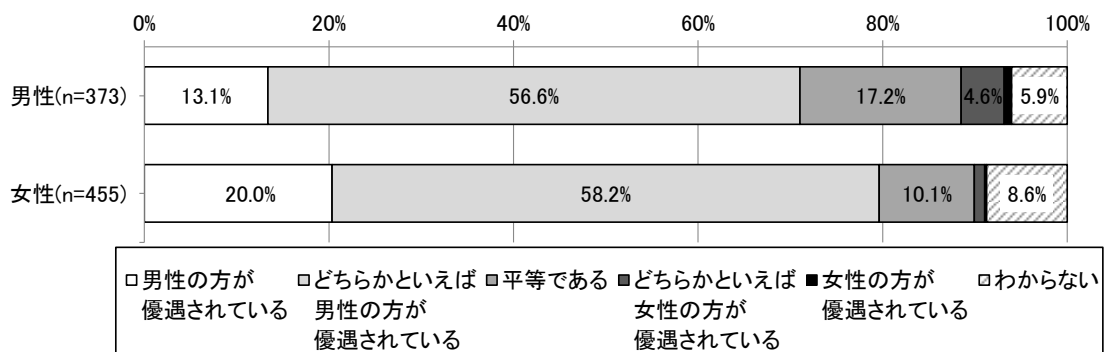
また、「女性の方が優遇されている」「どちらかといえば女性の方が優遇されている」を合わせると3.2%となっています。



項目	回答数	構成比
男性の方が優遇されている	144	16.9%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	489	57.4%
平等である	114	13.4%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	22	2.6%
女性の方が優遇されている	5	0.6%
わからない	62	7.3%
無回答	16	1.9%
合計	852	100.0%

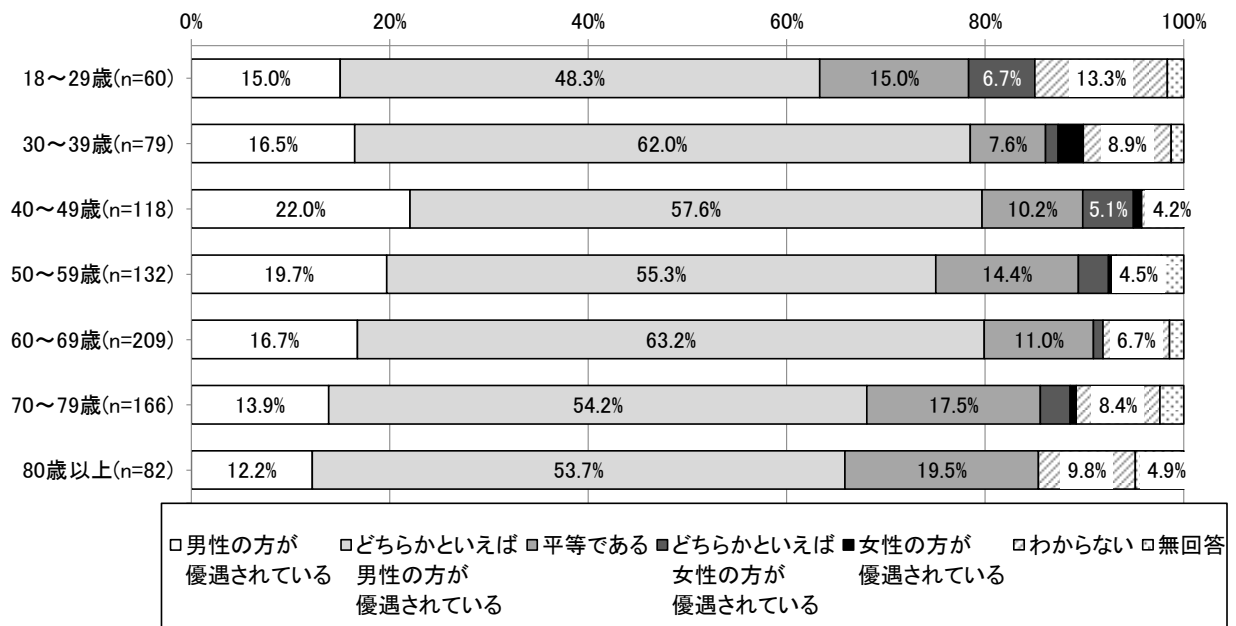
【性別 クロス集計】

性別で比較すると「男性の方が優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせると女性の方が8.5ポイント多くなっています。



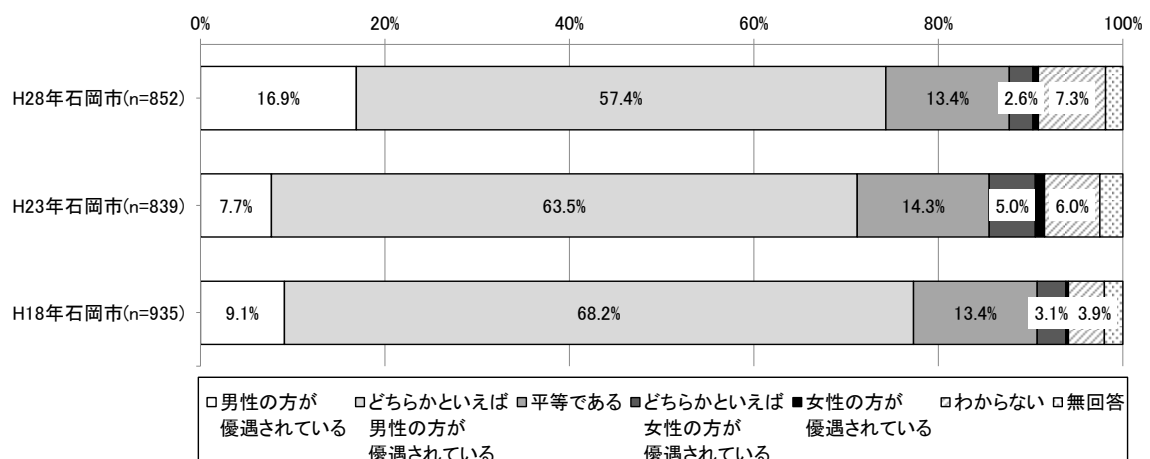
【年代 クロス集計】

年代で比較すると「男性の方が優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせると 30 代から 60 代で比較的多くなっています。



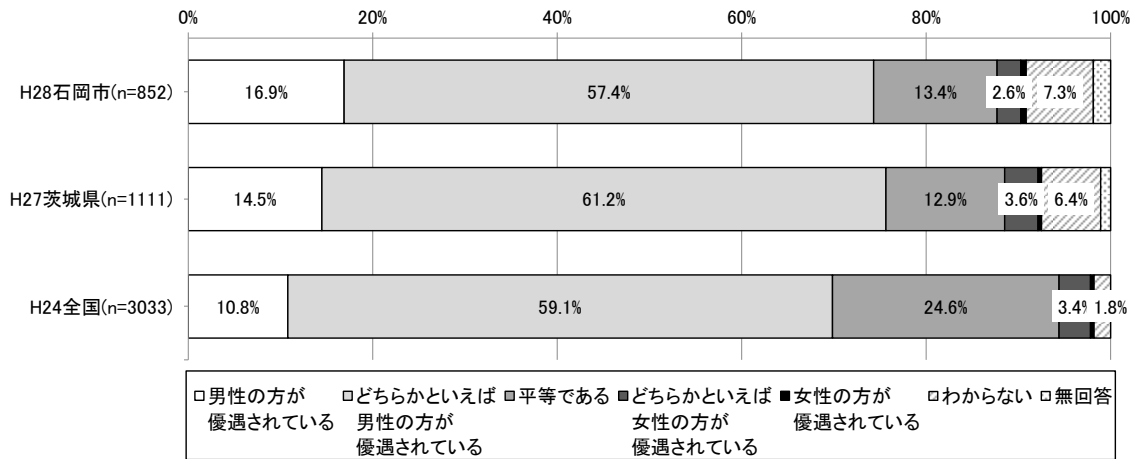
【経年 クロス集計】

経年で比較すると平成 28 年の「男性の方が優遇されている」が 16.9%と最も多く、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせると 74.3%となり、平成 18 年から比較すると 3.0 ポイント少なくなっています。



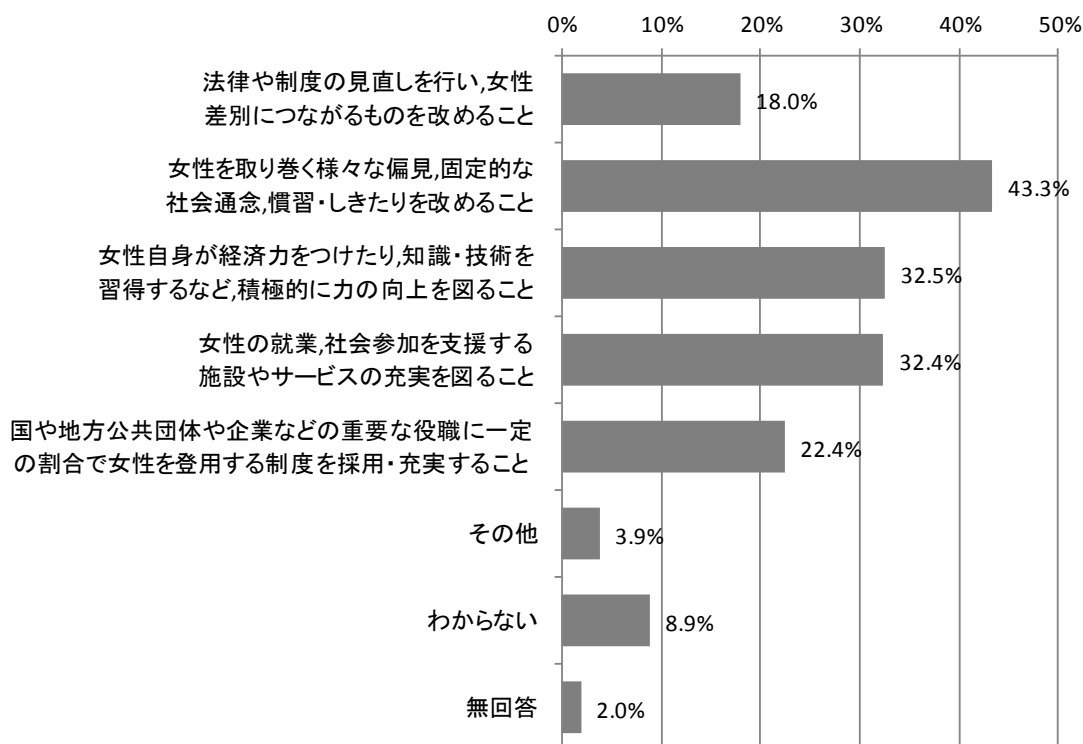
【茨城県・全国 クロス集計】

茨城県・全国と比較すると「男性の方が優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせると石岡市が全国より 4.4 ポイント多く、茨城県とは、ほぼ同率となっています。



問3 今後、あなたが、男女が社会のあらゆる分野でもっと平等になるために重要と思うことは何でしょうか。(〇は2つまで)

「女性を取り巻く様々な偏見, 固定的な社会通念, 慣習・しきたりを改めること」が43.3%と最も多く, 次いで「女性自身が経済力をつけたり, 知識・技術を習得するなど, 積極的に力の向上を図ること」32.5%, 「女性の就業, 社会参加を支援する施設やサービスの充実を図ること」32.4%となっています。

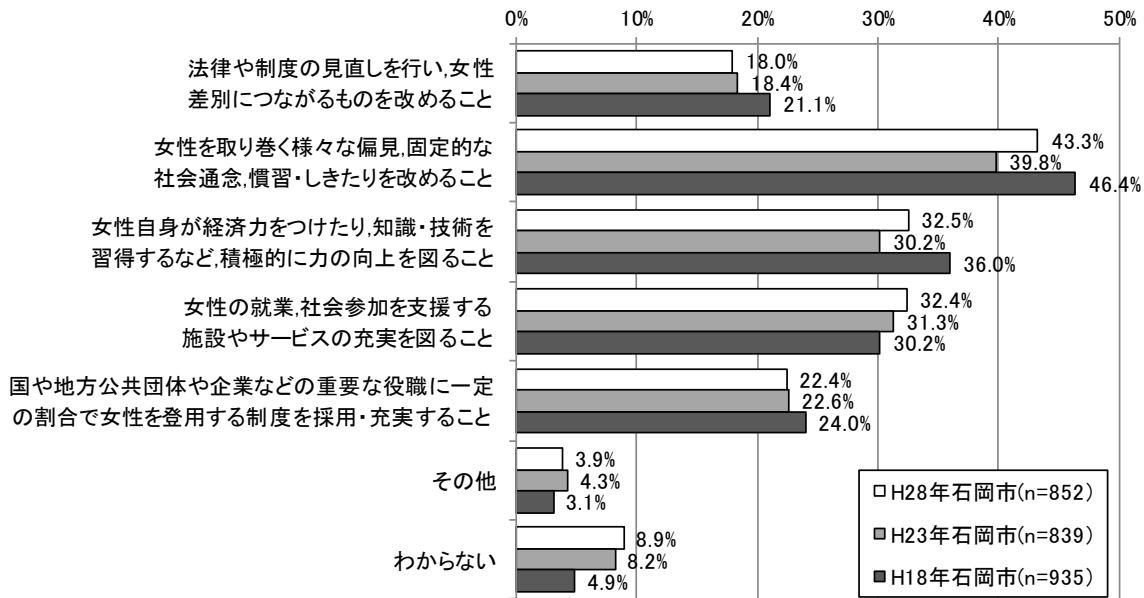


項目	回答数	構成比
法律や制度の見直しを行い, 女性差別につながるものを改めること	153	18.0%
女性を取り巻く様々な偏見, 固定的な社会通念, 慣習・しきたりを改めること	369	43.3%
女性自身が経済力をつけたり, 知識・技術を習得するなど, 積極的に力の向上を図ること	277	32.5%
女性の就業, 社会参加を支援する施設やサービスの充実を図ること	276	32.4%
国や地方公共団体や企業などの重要な役職に一定の割合で女性を登用する制度を採用・充実すること	191	22.4%
その他	33	3.9%
わからない	76	8.9%
無回答	17	2.0%
回答者数	852	

【経年 クロス集計】

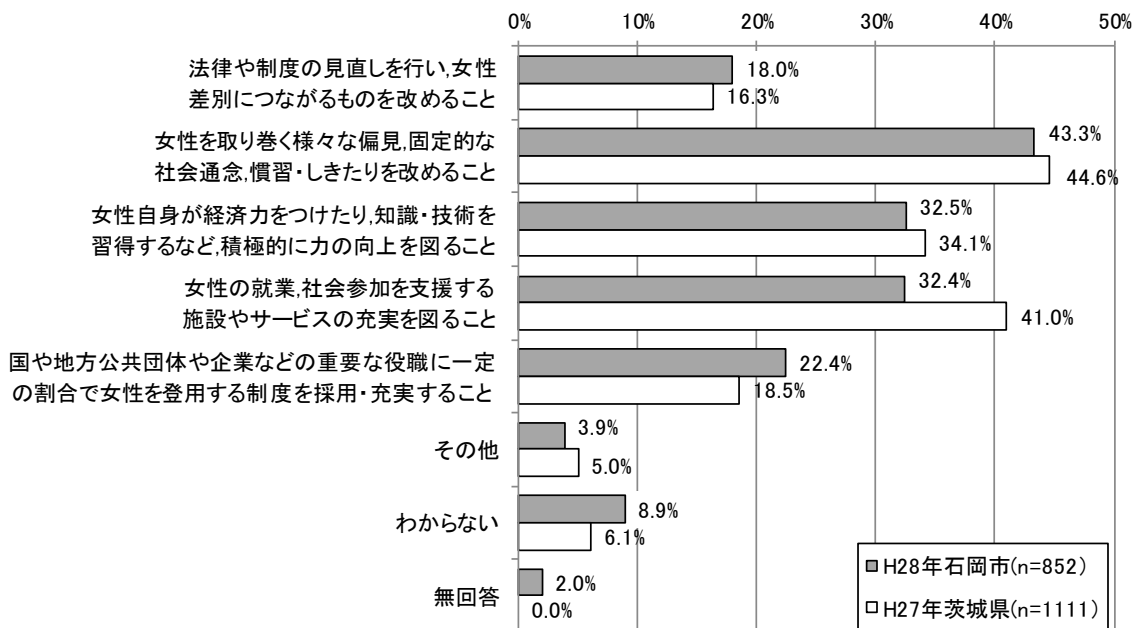
経年で比較すると「女性を取り巻く様々な偏見, 固定的な社会通念, 慣習・しきたりを改めること」, 「女性自身が経済力をつけたり, 知識・技術を習得するなど, 積極的に力の向上を図ること」で平成18年から平成23年で大きく減少し, 平成28年で増加に転じています。

また, 「女性の就業, 社会参加を支援する施設やサービスの充実を図ること」では調査ごとに徐々に増加しています。



【茨城県 クロス集計】

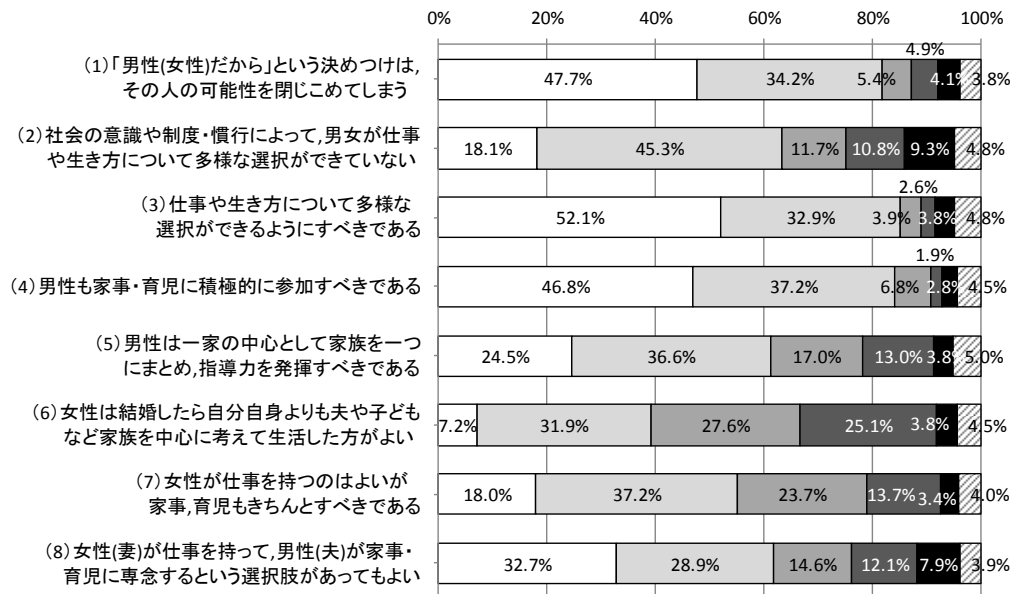
茨城県と比較すると「女性の就業, 社会参加を支援する施設やサービスの充実を図ること」で石岡市が8.6ポイント少なくなっています。



問4 次にあげる男女の生き方や家庭生活などに関する考えについて、あなたの考えをお聞かせください。(それぞれについて該当する「1～6」に○を1つ)

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の項目では、「(3) 仕事や生き方について多様な選択ができるようにすべきである」が最も多く、次いで「(4) 男性も家事・育児に積極的に参加すべきである」となっています。

一方、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の項目では、「(6) 女性は結婚したら自分自身よりも夫や子どもなど家族を中心に考えて生活した方がよい」が最も多くなっています。



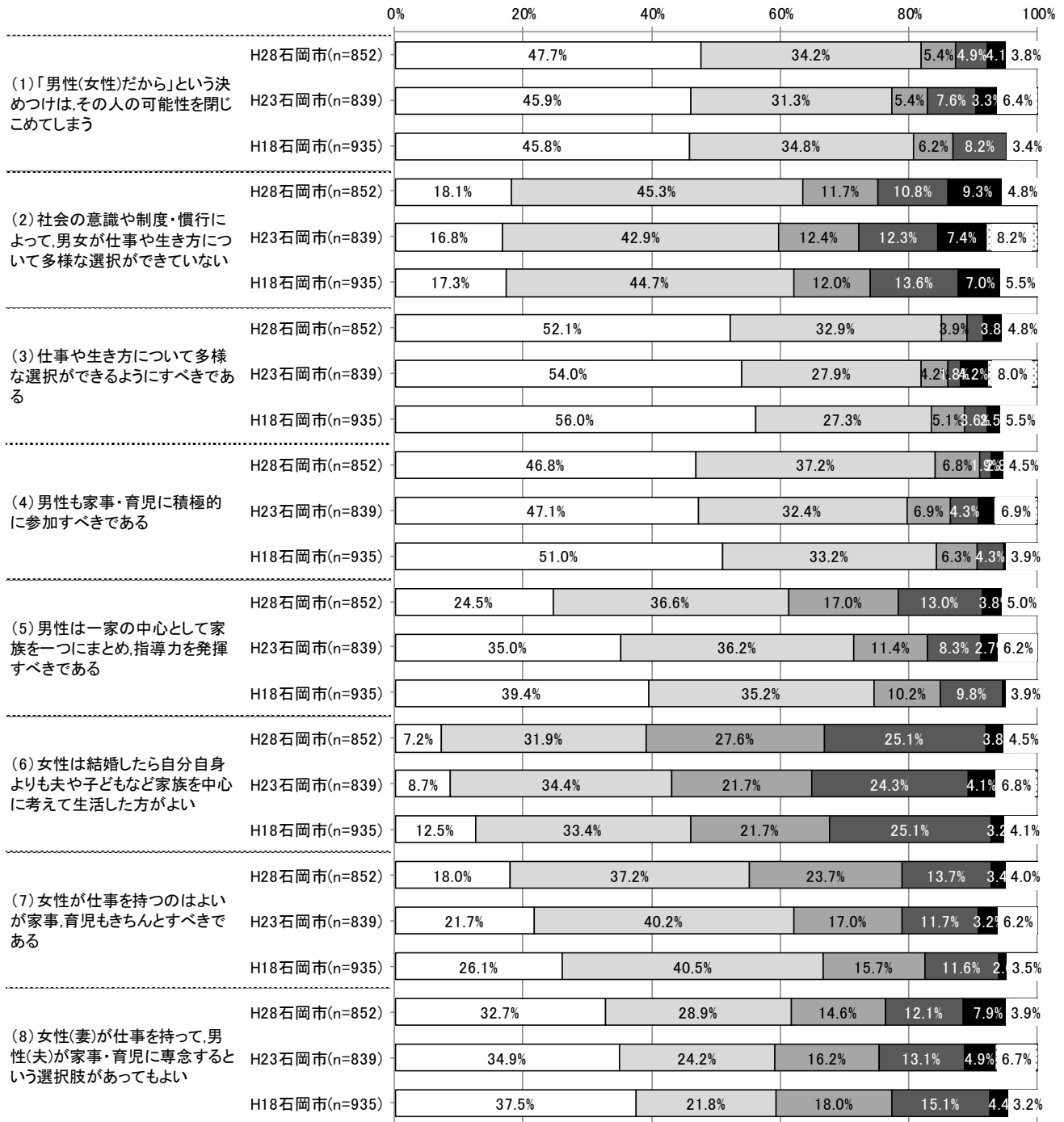
〇そう思う □どちらかといえばそう思う □どちらかといえばそう思わない ■そう思わない ■わからない □無回答

項目	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない	無回答	合計
(1)「男性(女性)だから」という決めつけは、その人の可能性を閉じこめてしまう	406	291	46	42	35	32	852
(2) 社会の意識や制度・慣行によって、男女が仕事や生き方について多様な選択ができていない	154	386	100	92	79	41	852
(3) 仕事や生き方について多様な選択ができるようにすべきである	444	280	33	22	32	41	852
(4) 男性も家事・育児に積極的に参加すべきである	399	317	58	16	24	38	852
(5) 男性は一家の中心として家族を一つにまとめ、指導力を発揮すべきである	209	312	145	111	32	43	852
(6) 女性は結婚したら自分自身よりも夫や子どもなど家族を中心に考えて生活した方がよい	61	272	235	214	32	38	852
(7) 女性が仕事を持つのはよいが家事、育児もきちんとすべきである	153	317	202	117	29	34	852
(8) 女性(妻)が仕事を持って、男性(夫)が家事・育児に専念するという選択肢があってもよい	279	246	124	103	67	33	852

項目(構成比)	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない	無回答	合計
(1)「男性(女性)だから」という決めつけは、その人の可能性を閉じこめてしまう	47.7%	34.2%	5.4%	4.9%	4.1%	3.8%	100.0%
(2) 社会の意識や制度・慣行によって、男女が仕事や生き方について多様な選択ができていない	18.1%	45.3%	11.7%	10.8%	9.3%	4.8%	100.0%
(3) 仕事や生き方について多様な選択ができるようにすべきである	52.1%	32.9%	3.9%	2.6%	3.8%	4.8%	100.0%
(4) 男性も家事・育児に積極的に参加すべきである	46.8%	37.2%	6.8%	1.9%	2.8%	4.5%	100.0%
(5) 男性は一家の中心として家族を一つにまとめ、指導力を発揮すべきである	24.5%	36.6%	17.0%	13.0%	3.8%	5.0%	100.0%
(6) 女性は結婚したら自分自身よりも夫や子どもなど家族を中心に考えて生活した方がよい	7.2%	31.9%	27.6%	25.1%	3.8%	4.5%	100.0%
(7) 女性が仕事を持つのはよいが家事、育児もきちんとすべきである	18.0%	37.2%	23.7%	13.7%	3.4%	4.0%	100.0%
(8) 女性(妻)が仕事を持って、男性(夫)が家事・育児に専念するという選択肢があってもよい	32.7%	28.9%	14.6%	12.1%	7.9%	3.9%	100.0%

【経年 クロス集計】

経年で比較すると「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせると「(5) 男性は一家の中心として家族を一つにまとめ、指導力を発揮すべきである」, 「(6) 女性は結婚したら自分自身よりも夫や子どもなど家族を中心に考えて生活した方がよい」, 「(7) 女性が仕事を持つのはよいが家事、育児もきちんとすべきである」の項目で、調査ごとに減少し、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」が増加傾向にあります。



□そう思う □どちらかといえ
ばそう思う □どちらかといえ
ばそう思わない ■そう
思わない ■わからない □無回答